

V19a すばるファーストライト-VII. CISCO によるファーストライト

本原顕太郎、舞原俊憲、岩室史英、寺田宏、後藤美和、岩井淳一、田辺裕久、田口智之、秦隆志(京大理)、大屋真(通総研)、関口和寛(国立天文台)、他すばるプロジェクトチーム

CISCO(Cooled Infrared Spectrograph and Camera for OHS) は1024×1024 ピクセルの HAWAII アレイ検出器を用い、z, J, H, K バンドでの撮像および分光を行うことができる汎用の近赤外線カメラ・分光器である。すばる望遠鏡のカセグレン焦点、ナスミス焦点、あるいは OH 夜光除去分光器(OHS) のバックエンドに取り付けることを目的として製作された。

1999年1月にカセグレン焦点ですばるでのファーストライトの観測を行い、それに続いて装置自身の性能を確認するエンジニアリング観測、および科学的成果を目的としたいわゆるサイエンティフィック・ファーストライト観測を実施することができた。

本発表ではこの観測で得られた CISCO 自身の性能と、いくつかの天体の撮像、分光観測の結果について、取得した画像などを交えつつ報告する。